

学校生活の様子 4月

令和6年度が始まり、子どもたちは少しずつ新しい環境に慣れてきたようです。今年度も月に1回程度、学校生活の様子をホームページでお伝えしていく予定です。学校だよりでは伝えきれない活動内容を掲載します。



1年生

【学校探検に行きました】

入学したばかりの1年生は、分からないことばかりです。子どもたちの「知りたい!」という気持ちを大切に、学校探検をしました。

高学年のお兄さんお姉さんの教室に行って落ち着いて学習をしている様子を肌で感じたり、普段鍵がかかっている部屋に入って何があるのかを調べたりしました。



「保育園とトイレの形が違う!」「幼稚園よりもお部屋がたくさんある!」といった、園との違いを見つける子がたくさんいました。新しい発見をするだけでなく、そこから学ぶことがたくさんあります。例えば職員室への入り方や鍵の借り方などは「こんなとき、どう言うの?」国語の学習につながります。日常生活の中で子どもが示した興味や関心、困りごとなどをきっかけに、少しずつ教科の学習につなげていきたいと考えています。

2年生

【ふわふわ言葉】

校長先生がふわふわ言葉とちくちく言葉の絵本を読み聞かせしてくれました。「この言葉はふわふわ?ちくちく?」との問いかけに対して、「ふわふわ!」「ちくちく…」と活発に発言していました。また、「もっとふわふわ言葉知ってる?」と聞かれると、「ずっと友達だよ。」「とってもすごいね。」「やさしいね。」など、たくさんの意見が出ました。

ふわふわ言葉をたくさん知っている素敵な2年生、これからもふわふわ言葉をたくさん使っていけると素敵です。



【野菜の苗を育てよう】

副校長先生が家で育てているスナップエンドウをくれました。ぷりぷりに熟したスナップエンドウを見ると「実がパツパツに入っている感じがする!」「おいしそう食べてみたい!」「私も育ててみたい!」という声が聞こえてきました。これからの時期に育てられそうな野菜を調べているところなので、これから野菜を育てるのがとても楽しみです。

3年生

【理科・社会が始まりました】

中学年になり、3年生はこれまでにはなかった様々な学習に取り組んでいます。2年生の頃に勉強していた生活科は、理科・社会に分かれ、より専門的な学びへ発展しました。新しく始まった理科では、2年生で学習した内容を思い出しながら春の生き物を校庭に探しに行きました。また、社会では地域の場所や建物に興味を持ち、方位を学び「まちたんけん」の準備をしています。これからの3年生の活躍が楽しみです。



4年生

【司書さんによる読み聞かせ】

国語「白いぼうし」の作者である、あまきみこさんの作品を司書さんに紹介してもらいました。松井さんの周りで起こる不思議な出来事に興味をもちながら読み聞かせを聞くことができました。関連した作品にも興味をもち、休み時間にも本を手に取り語り合う姿が見られました。



【絵の具でゆめもよう】

好きな色を一色選び、水の量を調節しながらぶどうをかきました。同じ色でも水の量によってこんなにも変わることに関心、楽しみながら学習しました。絵の具の使い方や筆の使い方など、これまでに学習してきたことを生かして鮮やかな作品に仕上げることができました。



5年生

【高学年の仲間入り】

今年から高学年の仲間入り、学校を引っ張る立場になった5年生。みんなやる気いっぱい、早速様々な活動に取り組んでいます。初めての委員会活動では6年生から、活動内容や準備の仕方を教わりました。子どもたちは、委員長からの挨拶やてきぱきと進める6年生の様子に刺激を受けながら、学校を動かすことの自覚が芽生えていました。来年、最高学年となった自分たちの姿を想像しながら、日々奮闘しています。

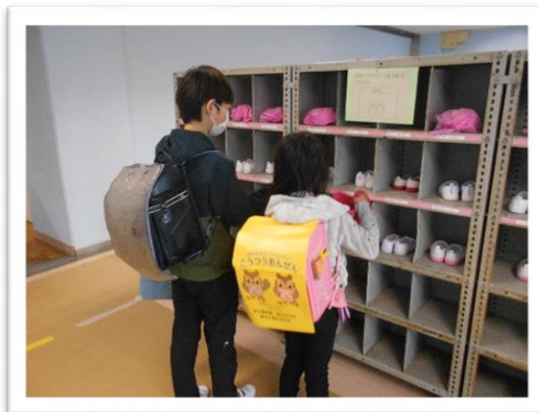


【1年生サポート】

「とにかくなんでもやってあげたい!」と意気込んで始まった1年生サポート。少し経った頃から、「どこまで手を出していいのか分からない。」という悩みが出てきました。このことを学級で共有してから、振り返りカードには「〇〇さんの様子を見守りたい。」「〇〇さんが分からない様子だったら手を貸したい。」などという言葉があらわれ始め、バディの様子に合わせて行動を考えようとする姿が見られるようになりました。確かに、小学校では一番年下の1年生も、ついこの間まで保育園・幼稚園では最も年上のお兄さんお姉さんとして生活してきたので

一方、園と学校では大きく環境が変わって戸惑うことも当然。そんな1年生一人ひとりのことを考えようとする6年生の価値ある葛藤と気づきです。

また、登校後の身支度がひと段落すると、1年生と目線の高さを合わせながら会話をしたり、ハイタッチをしたりと、学校で過ごすことの楽しさを伝えようとする児童も出てきました。試行錯誤の日々ですが、頼りにされることの喜びを感じているようです。



下駄箱の位置や入れ方を伝えたよ。



正対する

【良い習慣作り】

最初の1週間は1年間を気持ちよく過ごすための良い習慣作りを徹底しました。名前を呼ばれたら「はい。」と返事をする。挨拶はしっかりと声を出す。文字は濃く・ますいっぱいを書くこと。

その中でも特に、話している相手に体を向けること「正対する」ことを大切にするように指導しました。自分の考えを発表することは誰だって勇気が必要です。その勇気を支えるのが聞き手の正対であることを感じられるように指導を続けていきます。

個別支援学級

児童机を円形に配置し事務机を囲む形に変更しました。日常の個別学習で音読の発表や意見を言う時に児童同士が正対することで、聞き手を意識することができます。学習の指導・支援の時にも児童の前を移動しながら見ることができます。



花博を盛り上げるため校庭の周りにマリーゴールドなどの草花を植えることにしました。草取りをして土を柔らかくした上に種をまきました。マリーゴールドは瀬谷ミツラボさんのミツバチのためでもあります。